

平成29年度 福岡県認知症医療センター 直方中村病院 活動報告
一般社団法人 福岡県精神保健福祉士協会 筑豊ブロック 平成29年度第1回研修会

【開催日時】平成29年9月1日（金）18:30~20:00

【開催場所】飯塚病院 北病棟4階 多目的室（飯塚市芳雄町3-83）

【内 容】テーマ「精神保健福祉士が知っておきたい認知症支援」

【主 催】一般社団法人 福岡県精神保健福祉士協会

今回、一般社団法人 福岡県精神保健福祉士協会 筑豊ブロックから講師依頼がございました。参加者は53名です。所属機関は、医療機関・福祉事業所・行政機関等でした。

テーマ「精神保健福祉士が知っておきたい認知症支援」に対し、3演題の内容でした。内容は次の通りです。

演題①「認知症医療センターの概要と認知症初期集中支援チームの取り組みについて」

講師：福岡県認知症医療センター 直方中村病院 精神保健福祉士 葉室

演題②「改正道路交通法」

講師：飯塚警察署 交通総務係 係長 佐々木 先生

演題③「地域の認知症に対する取り組みについて」

講師：嘉麻市役所 高齢者介護課 課長補佐 坪根 先生

演題①では、福岡県認知症医療センターの説明について、新オレンジプランを基に役割や実績を説明しました。認知症初期集中支援チームについては、国が示している概要と設置の動向、そして実績及び事例を紹介しました。演題②では、平成29年3月12日、改正道路交通法が施行されましたが、その説明がありました。その上で、高齢者の事故の特徴についてのお話がありました。その際、注意事項をまとめると、「あじのひらき」と覚えると良いとのことでした。

「あ」 歩きの事故（歩行時の事故、道路横断中の事故が多い）

「じ」「の」自転車の事故（自転車は被害者にも加害者にもなり得る）

「ひ」 左から来る車の事故（道路横断中に、左から来る車に注意が必要）

「ら」 ライトがつく時間の事故（夕暮れ時は事故が多い）

「き」 近所の事故（自宅から近所500mでの事故が多い）

演題③では、嘉麻市の取り組みについて説明がありました。認知症ネットワーク調整会議、オレンジサロン（4地区、11ヶ所）の詳細を聴くことができました。

アンケートは46名の方から回答がありました。「認知症初期集中支援チーム、行政の取り組み、改正道路交通法の現状を幅広く勉強ができ、とても良かったです」等、多くの方から「満足した」との回答だったようです。

さいごに、開催にあたりご尽力いただきました関係者の方々に、お礼申し上げます。また、ご参加いただいた方々も業務の時間を調整していただきまして、重ねて感謝申し上げます。

ありがとうございます。

（葉室）